

「公共」特別回 新聞を活用しよう

東京都立東久留米総合高等学校(定時制課程)
公民科 水野 雄人

とある高校の先生(32)からこんな投稿が寄せられました...(東京新聞2024年3月21日朝刊)

教員の仕事範囲見直して

高校教諭

32

(さいたま市南区)

先日、とあるカラオケ店からクレームの電話を受けた。「おたくの学校と思われる生徒の駐輪の仕方がなっていないので、学校で指導してほしい」とのこと。このような連絡はよくあることで、「ご迷惑をおかけして申し訳ございません。二度とないように指導します」と対応するのが常である。

電話を切った後にふと思った。どこまでが学校の仕事なのか。学校外で起こった出来事の責任は普通「家庭」にある。しかし世間ではこのようなことがまかり通っている。連絡先は学校ではなく、その生徒の保護者なのでは、と考えさせられた。

近年、教員の志望者は大幅な減少傾向にある。教員のやるべき仕事の範囲を明確化し、今までまかり通ってきたことを見直す良いタイミングなのかもしれない。

今日のテーマ

「教員の働き方改革について考えよう！」



作業 1

プリントの新聞記事を読んで、
考えたことを(1)に書こう！

【5分】

作業 2

同じ新聞記事を読んだ生徒とペアになり、他のメンバーの意見を聞いて、(2)に書こう！

【1人2分で発表】

作業 3

違う新聞記事を読んだ生徒とペアになり、ペアの人の意見を聞いて、(3)に書こう！

【1人2分で発表】

作業 4

(1)~(3) をふまえ、教員の働き方改革に向け、どんな取組が有効かを(4)に書こう！

【5分】

共有

(4)に書いたことを全体で
共有しよう！

新聞記事の内容

1. 働き方改革の内容を報じる記事

(採用試験前倒し、賃金や人員を増やす、部活動の地域移行)

2. 教員の悲惨な労働環境を報じる記事

(長時間残業、パワハラ、金銭的な負担)

先生が考えたこと

遅くまで仕事をするのが正しいのか...？

プライベートの時間や自分のお金を犠牲にしてまで働くことが正義なのか...？

先生が考えたこと

生徒の多様性を尊重することは大切！

それと同じように、教員の様々な価値観や働き方が尊重されることも大切！

この投稿は水野先生からの投稿でした(笑)

(東京新聞2024年3月21日朝刊)

教員の仕事範囲見直して

高校教諭 水野 雄人 32

(さいたま市南区)

先日、とあるカラオケ店からクレームの電話を受けた。「おたくの学校と思われる生徒の駐輪の仕方がなっていないので、学校で指導してほしい」とのこと。このような連絡はよくあることで、「ご迷惑をおかけして申し訳ございません。二度とないように指導します」と対応するのが常である。

電話を切った後にふと思った。どこまでが学校の仕事なのか。学校外で起こった出来事の責任は普通「家庭」にある。しかし世間ではこのようなことがまかり通っている。連絡先は学校ではなく、その生徒の保護者なのでは、と考えさせられた。

近年、教員の志望者は大幅な減少傾向にある。教員のやるべき仕事の範囲を明確化し、今までまかり通ってきたことを見直す良いタイミングなのかもしれない。

みんなも考えたことや思ったことを新聞に
投稿してみよう！

・読売新聞「気流」 330字程度

[投稿・情報提供：読売新聞 \(yomiuri.co.jp\)](http://yomiuri.co.jp)

・朝日新聞「声」 400～500字

<https://que.digital.asahi.com/question/11007504>

・産経新聞「オピニオン」 400字程度

special@sankei.co.jpへメール

・東京新聞「発言」 360～400字

[「発言」への投稿フォーム：東京新聞 TOKYO Web \(tokyo-np.co.jp\)](http://tokyo-np.co.jp)

みんなも考えたことや思ったことを新聞に
投稿してみよう！(東京新聞)

★ 投稿お待ちしております

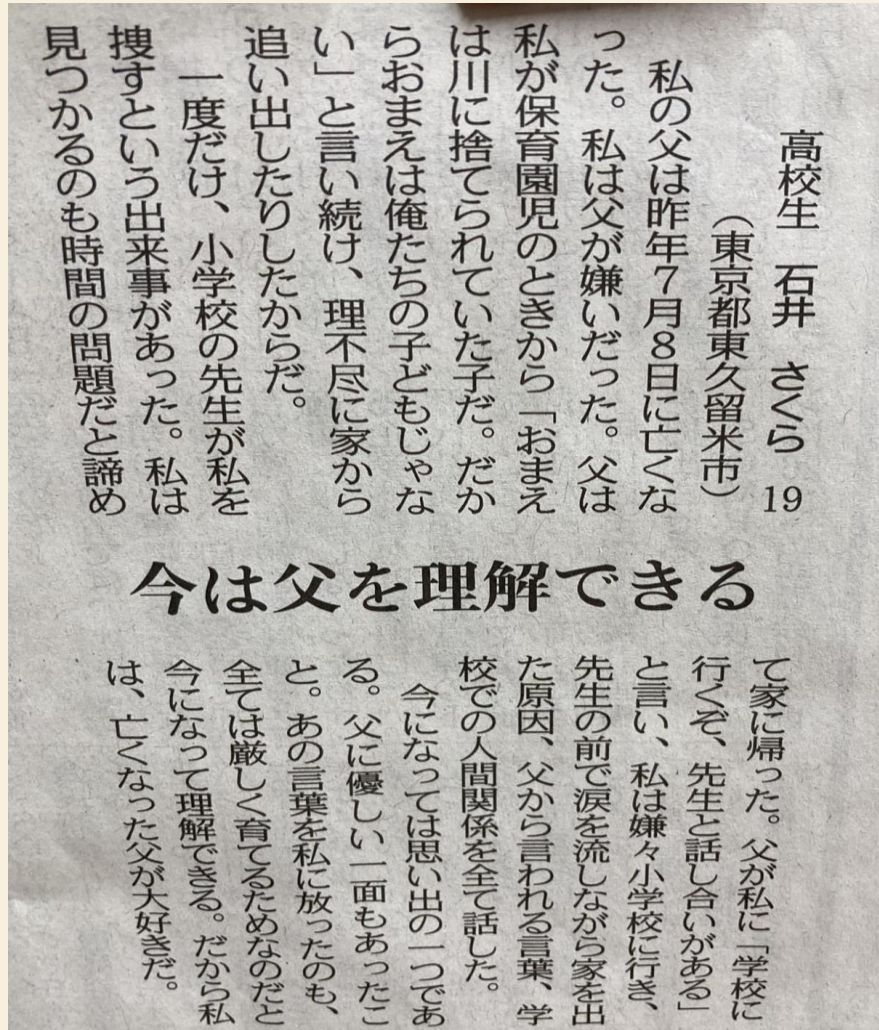
◆発言(360～400字程度)◆ミラー(620
字程度)◆笑ケース◆時事川柳◆イラスト
(はがき大) 住所・氏名・年齢・職
業・電話番号を明記。〒100 8525(住所
不要) 東京新聞編集局「発言」係。ファク
ス=03(3595)6934。添削することがあり
ます。二重投稿禁止。掲載分には
薄謝進呈。本紙電子媒体や友好
紙に掲載することがあります。

Web投稿はこちら▶



みんなの先輩も新聞に載りました！

(東京新聞2024年1月26日)



選択「時事教養」の授業で、東京新聞に投書をする取組を行いました。

石井さんは自らの辛い経験について勇気を出して書いてくれました。

先生もみんなに触発されて投稿しました！

- ・ 朝日新聞
「授業見に来て」
職員室に好循環
(2024年6月12日)



- 新聞は読みものであるが、自身の意見を発信・共有する場でもある！
- 自分の考えを発信することは、社会を変えるきっかけになる！
- 誰かが投稿すると、その輪が広がっていく！

言葉には社会を変え
る力がある！